

ひばり

東国分爽風学園 市川市立稲越小学校

〒272-0831 市川市稲越 3-21-8 Tel. 373-8401

<https://ichikawa-school.ed.jp/inagoshi-sho/>

上手な勉強方法がわからない子どもの増加が明らかに 2022年には約7割に

校長 吉田 直美

「上手な勉強のしかたがわからない」という子どもが2019年以降、右肩あがりに増加が続き、2022年には約7割に達したことが、東京大学社会科学研究所とベネッセ教育総合研究所が2023年4月11日に公表した調査結果から明らかになりました。

小学4年生～高校3年生までの全体で見ると、「上手な勉強のしかたがわからない」という子どもは2019年（57.2%）、2020年（59.6%）、2021年（61.5%）、2022年（67.5%）と、4年間で10.3ポイント上昇。学校段階があがるほど割合は高い傾向にあり、小4～小6年生と高校生の間には12.1ポイントの差がみられました。一方、4年間の増加幅は、学校段階が低いほど大きい傾向にあり、小学生では18.5ポイント増と学習方法の悩みが増えていることがわかりました。

学習方法の理解は「学習意欲」と深い関係があり、学習方法の理解が進むと学習意欲も高まることがわかっているそうです。

今回の分析では、学習方法の理解は、成績との関連もみられ、学習意欲や学習時間よりも、成績との関係が高い傾向にありました。ただし、「学習時間」と「成績」の関連は、小4～小6年生でもっとも強く、学年が低いうちは、学習習慣の定着も成績に一定の効果があることがわかりました。

「上手な勉強のしかたがわからない」の質問に対して、「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」と回答した子どもは、論理的思考が得意で、決めたことをやり遂げる子が多く、学習方法の理解は成績だけでなく、論理的に考える力や粘り強さのような多様な資質・能力とも関連があることもわかりました。

保護者の皆様も、お子さんを育てるにあたり、日常生活の中でさまざまな事を様々な方法で教えてきたと思います。食べ方、話し方、自転車の乗り方、箸の持ち方、着替え方等々。そしてその時期も適切な時期を見計らって、食べ方は乳児から、自転車は自分でまっすぐに駆け足ができるようになってから、着替えは3歳くらいからでしょうか。「何を」「いつ」教えるかのタイミングも重要といえます。上手な勉強のしかたとは、果たしてどういう方法なのか。中学高校時代の自分を振り返ってみると、友達の学習方法が自分にもよい方法であるとは限らなかったことを思い出します。自分に合った上手な勉強のしかたは、自分で勉強をしながら自分自身が見つけていくものなのでしょう。学校では、いろいろな勉強のしかたを提案し子どもたちと探っていきます。家庭では学習の様子を観察し、我が子にはどんな勉強のしかたが合うのか見極めていただくのとよいのではないのでしょうか。時にはその役割を逆転させて相互連携していきましょう。